



200 名山の三瓶山(さんべさん)を始めとして 300 名山の那岐山(なぎさん)・道後山・吾妻山の四つをいっぺんにやってしまうというツアーである。このような企画であるから集まったメンバーはよく見る人たちが多く、K ワギさん・O ザワさん・S ダさんなどに交じってほくろのバアサマのA オキさんなどがいる。男 9 名・女 8 名の総勢 17 名。今回は満席でキャンセル待ちもいたようである。ツアー添乗員はまいたび社員の倉田さんと横山さんである。倉田さんは、客同士の会話の中で名前を聞いたことはあるが会うのは初めてだ。横山さんも初めてであるが、二人とも数年前には山部門にいたらしいがこの春の人事異動で、他の部門に転出していたのが出戻りしたとのことである。今回も 29 日は台風の中のスタートである。倉田さんは飛行機が出るかどうかでずいぶん心を悩ませたらしいが、台風は遠ざかる方向であったので影響はたいしたことはなかった。このような感想は客だから言えることで、まいたび山部門幹部の倉田さんは、会社に損失を与えないように小さな胸を悩ませたようである。

#### **那岐山** (1255m)

なぎせんとも読む、だいせん(大山)などの場合と同じである。瀬戸内海から鳥取砂丘まで見通せるとのことであったが、台風の影響が残る天気では頂上に立てただけで良しとしなければならない。雨風とも弱かったので、行動への影響は少なかった。

道後山 (1269m)



山の名前から四国の山かと思ったが、この地方では比婆道後帝釈という国定公園に指定されたポピュラーな山であるらしい。広島県と鳥取県の県境の山である。なだらかな山容は、ちょっと散歩にでもといった感じにフィットする。岩樋山から山頂への途中には牧場跡などというところもあって、あくまでものんびりした感じの山である。





吾妻山 (1239m)



この山も広島県と鳥取県の  
県境に位置する。国民休暇村  
があり紅葉の季節でもあるので  
観光客も多いと言いたいのが、  
絶好の紅葉季節の休日にして  
は観光客が少ない。午前中の  
道後山にも霧囲気はよく似て  
おり、同じような景色の山が  
多すぎるのかもしれない。



三瓶山 (1126m)



知名度では今回の山のメインイベントと言えるが、もともと高くもない山に登るのにロープウェーを利用して 800mまで行ってしまうのであるから、山登りとしてはたいしたことはない。それでも前の人に追いつくのにヒューヒューいった。次の海外山旅はタスマニアを考

えているのであるが、この調子では考え直さないといけないかもしれない。

